

「ねえ、知ってる？俺ん家って動くよばい」

～好きなまちへ自宅と一緒に引っ越そう～

ユニット：組織、機械、構造物、商品などを構成する一部分。転じて、個々の部品（ユニット）を組み合わせた完成品。

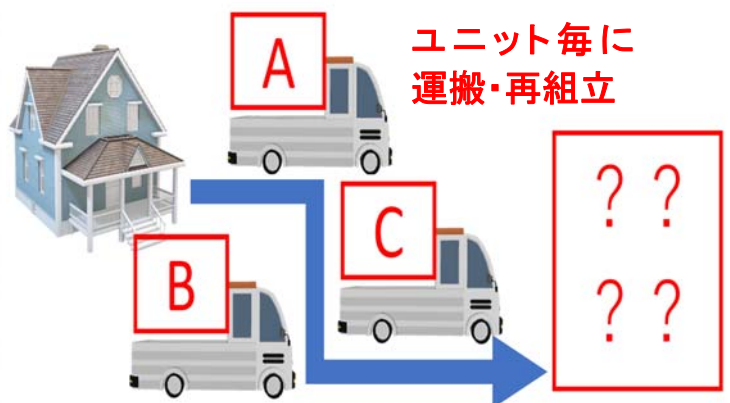
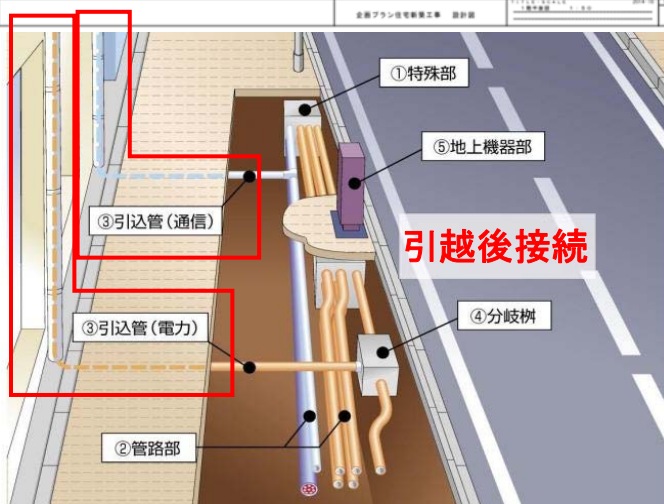
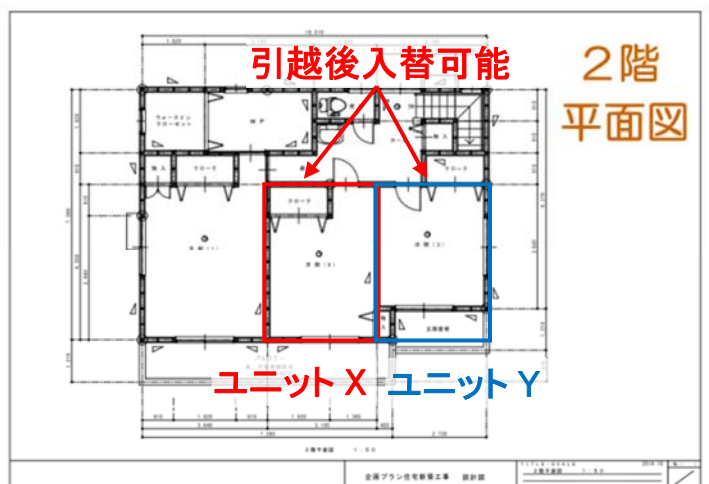
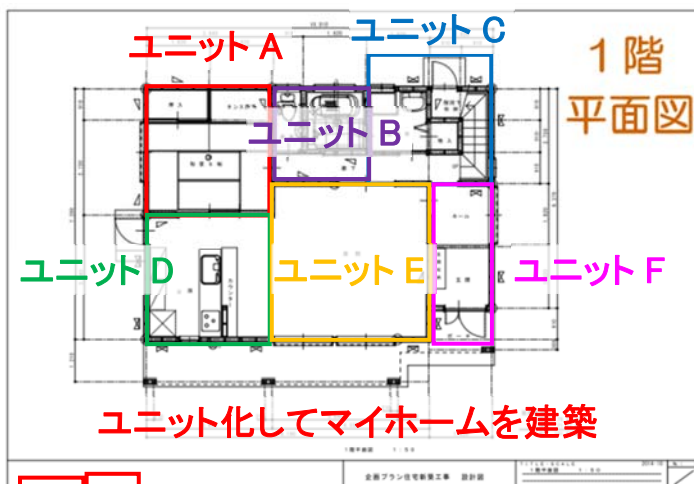
Wikipedia より

【概要】

- ・マイホームを持つことは多くの人の夢であるが、大きな決断が必要
- ・多くの人が一生に一度の決断のため、レイアウトや場所にこだわり購入が遅れる。時機を逃し金利の問題も重なり、購入しない場合も
- ・マンション等の転売や賃貸の形式もあり、戸建て住宅人気にかげりがある
- ・近隣トラブルや自然災害が発生した場合でも、**購入後の引越は困難**であり、その地に定住せざるを得ない

【提案】

- ・マイホームを、各部屋、キッチン等にユニット化し気軽に分解、組立可能にする
- ・引越の際はマイホームをユニット毎に分解し、個別に運搬し再組立を行う
- ・家ごとの移動や引越が可能となるよう軽量化、けん引装置を設置
- ・上下水道、ガス、電気等のライフラインを地中化し、引越先で新たに接続



【メリット・デメリット】

- ・分解、再組立が可能のため、**マイホームと一緒に引越が可能**
- ・ユニット化により、損傷箇所の交換やレイアウトの変更が容易
- ・ユニット化により、工場生産が可能。工場生産のため低価格となり購入しやすい
- ・日本風の伝統的家屋（瓦屋根、梁、柱、木造家屋）等は適用困難？
- ・耐久性の問題

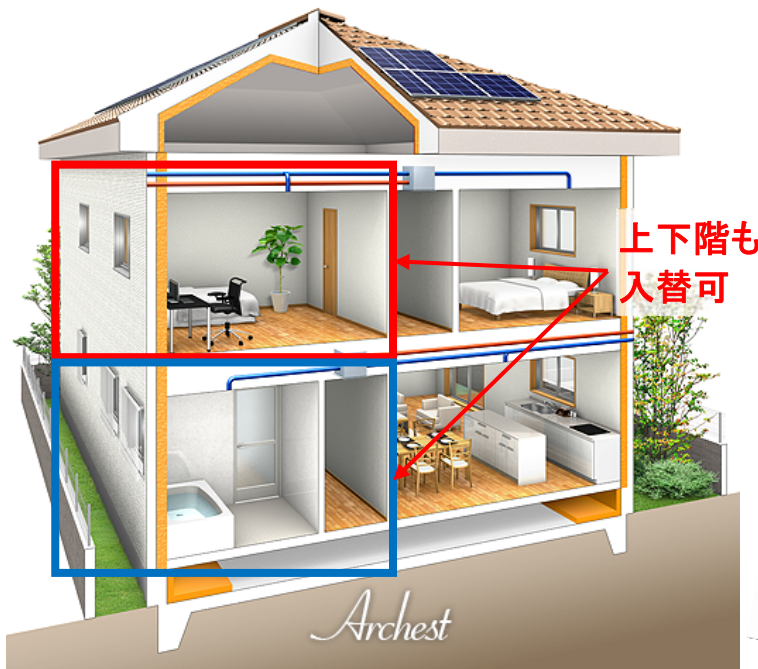


表-1 比較表

判定項目	動く家		動かない家	
建築にかかる費用	同品質、同素材のため一括発注が可能 ユニットパーツはストック可能であり工期が短縮	○	個別注文のためコスト増 仕様確定後の建築のためストック不可であり工期が長期化	△
住宅の品質	接続部の品質が不明瞭 不良箇所のスポット交換が可能	△	品質良好 不良箇所の補修や交換で住宅の一部解体等が発生	△
安全な生活	災害の恐れがある地域から家ごと避難可能	○	住宅の破損の恐れ	△
ライフスタイルの変化	引越や建替え、リフォームに柔軟に対応	○	買替え時、買い手が付きにくいため不利	△
総合評価	◎		△	

【実現するために・将来への活用】

- ・移動のための道路や牽引装置（方法）の開発
- ・引越前後の手続きの簡略化（マイナンバーカードやオンライン申請の普及）
- ・**Uターン引越が可能**なため、急を要する防災工事や復興工事も住民の理解が得やすい
- ・都市計画の変更にも柔軟に対応が可能